



やすき通信

訪問看護ステーション穩

2020年 春号



家族の想いとともに～ターミナルケア～

年末に肺炎を発症。その後、食事が摂れなくなり、廃用が進んでいったFさん。循環障害のため両足が壊死し、つらい痛みを伴っていました。処置の時は「痛い、痛い」と訴えられ、いつも苦痛の表情をされていました。

全身状態が悪い中、入浴もできない日々。献身的に介護をされていた姪御さんから「髪の毛を洗ってあげたい」という言葉が聞かれました。

事務所の棚に眠っていたケリーパットを引っ張り出し、ちょっとお掃除。きれいに組み立てて使用可能であることを確認！

姪御さんに洗髪ができることをお伝えすると、とても喜ばれました。

洗髪をしている間は痛みを忘れ、気持ちよさを感じてくれたらいいなと思いました。



訪問看護師スタッフ一同



安全に最期まで口から食べるために

肺炎を乗り越え、元気になった94歳のKさん。現在は全粥と粗刻み食を摂取できるまでになりました。毎食全量摂取し、体重も徐々に増加傾向。以前のように歩行もできるようになり、家族も安心されています。

安全な経口摂取を続けていくためには、ここで終わりではいけません。高齢者の敵である肺炎・脱水・サルコペニア・フレイル等を予防していくためには、日々のモニタリングと機能維持のための訓練を継続し、リスク管理に務めることが大切です。

安全に食べることができる環境を提供していきましょう(^O^)/



長息生活でブローイング訓練

- 唇を閉じる力を強化
- 呼気力の強化
- 咳嗽、喀出力の強化
- 鼻咽腔閉鎖の改善 etc

看護師・日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士：藤中雪子

感謝のつづき



チーム穩(やすき)スタッフの仲間入りをして、早や5ヶ月が過ぎました。若いスタッフと毎日楽しく、時には自分の手際の悪さに悪戦苦闘しながら日々頑張っています(^o^)/

利用者様との新しい出会いに心弾ませ、別れに涙し、これからの自分の人生や老後を考える貴重な経験をさせてもらっています。

これからも、「成せば成る。成さねば成らぬ何事も。成らぬは人の成さぬなりけり。」と、座右の銘を思い出し、感謝と笑顔を忘れないで頑張ろうと思っています。

看護師：辻 常夏

管理者こだまの一言

まだまだ寒い日も続いておりますが、3月に入り、ちらほら春の気配を感じられる季節となってまいりました。これまで寒い時期を自宅でもりがちになっていた方も外出してみよう！と思えるようなお手伝いが出来たらステキだなと思っております(^^)

ぜひ皆様に肌で春を感じて、心もほっこりとなって頂けたら嬉しいです。

管理者：児玉恵美子

医療法人優誠会 訪問看護ステーション穩(やすき)
〒811-1314 福岡市南区的場2丁目37-2
TEL：092-589-3011 FAX：092-589-3021